

第2回木津川市生涯学習推進計画策定委員会報告書

開催日時 平成24年11月28日(水) 午後1時30分～3時40分
会 場 市役所4階 4-3会議室
出席者 前平委員長・高原副委員長・岩井委員・川口委員・岡田委員・金井委員
大西委員
(ワーキング委員) 松原委員・葛谷委員・福井委員・三上委員・花田委員・
渡邊委員
(事務局) 太田課長・松田課長補佐・秋元係長

開会挨拶(前平委員長)

前平です。今日は、アンケート調査の結果をどう読むのかと今後実施するフィールド調査についてが主な議題となります。アンケート調査の結果を見ても、木津川市は生涯学習に積極的な人が多いことがわかります。今日はいろんなご意見をいただきましたので、よろしくお願いします。

議題1 生涯学習に関する市民アンケート調査結果について

《事務局説明》

- ・計画策定の参考資料とするため、2月に実施した「生涯学習に関するアンケート調査」の集計結果について事務局から説明を行った。

《質疑》

- 委 員 80%の人が生涯学習に興味を持っているという回答。一方では興味がない、わずらわしいと答えた人もいる。視点を定めていく必要がある。
- 委員長 おもしろい回答が返ってきている。計画づくりに貴重な資料となる。特に自由意見欄は生の声であり貴重なもの。活動をしていない人にも理由を聞いているのは素晴らしい。その人たちに興味を持ってもらう方法を考える資料ができる。機会があれば取り組みたいという意欲にあふれている。
- 委 員 関心がない人もきちんと答えておられる。関心がないと言いながらも少しの関心は持ってもらっているように思う。背中を押してあげる何かがあれば、参加してもらえそうな気がする。
- 委 員 アンケートでは回答に男女の差がないということだが、実際に活動しているのは女性がほとんど。男性の参画をどう促すのかが課題と感じている。
- 委 員 子育てをしておられる方、特に小さなお子さんがある人は参加しにくいのでは。
- 委員長 生涯学習を子育てやボランティア、地域活動と切り離して別のものと

考えておられる方が多い。すべてが生涯学習につながるものなので、子育ての視点も必要である。

委員 初心者向け講座の充実をという意見もある。講座には、興味を持ってもらうためのものと技能を高めていくものとを分けて考えないといけない。

委員 公民館や東部交流会館交流会館では講座が充実しているが、各地域の集会所レベルでの取り組みも必要。地域の人々に対してきっかけを与えることが大切だと感じる。

委員長 アンケート調査では木津川市のグローバルな問題をつかむことができた。今後はフィールド調査によってそれぞれの地域や団体1つ1つの問題をつかんでいくことになる。

委員 アンケートでは参加できていないけど、きっかけがあればと答えておられる。難しく考えすぎておられるのではという感想を持った。

委員長 各委員から様々な意見を出してもらった。今後はこの結果をバイブルにして計画づくりを進めていきたいと思います。

議題2 関係団体の活動における現状と課題について

- ・文化協会会長（岩井委員）、公民館サークル連絡協議会会長（川口委員）から、それぞれの活動の現状と課題について報告していただいた。

《文化協会》

木津町と山城町文化協会が合併して5年目を迎えた。会議でも各団体の都合だけで遠慮もなく好き勝手なことを言い合うのが多かった。またすべて事務局に甘えて事務局任せという雰囲気もあった。これらを解消するため、「小さな発表会」に取り組んでいる。4団体以上で発表会をする場合に補助金を出す。ただし準備から片付けまですべて自分たちで対応してもらっている。これらの改革はまだ途中ではあるが、社会教育課からもできるだけ自分たちでするように言われているので、今後も続けていきたい。

《公サ連》

50サークル、約750人が所属している公民館を利用しているサークルの集まり。サークル間の連帯と調和、生涯学習の推進と明るく住みやすい町づくりをめざしている。毎年実施している公民館まつりは来年30回目を迎える。組織は主催事業部と共催事業部、広報部の3つに分かれている。広報部ではサークル案内等のチラシをメンバーで各戸配布している。メンバーの高齢化と会員数が減少傾向にあることが課題となっている。また地域活動に取り組んでおられない方をどう取り込んでいくのかも課題である。

委員長 それぞれの団体の活動と課題についてお話いただきました。市川委員がお仕事のため欠席されていますので、体育協会のお話は改めてお聞きしたいと思います。10年前の調査ですが、定年した男性が唯一女性より取り組んでいる内容は、図書館で本を読むことなんです。おもしろいことに若い世代では男性より女性が圧倒的に図書館を利用しています。高齢の男性と若い女性の好きなことが同じということもたくさんあるんです。

議題3 フィールド調査に係る調査票について

《事務局説明》

- ・ワーキング委員会で京都大学の吉田先生のご協力をいただき、ワーキング調査項目について検討いただいたものを調査票としてまとめました。この調査票についてご審議をいただき、ワーキング委員が市内各地で調査を行い、市民アンケート調査で拾い切れなかった市民の声を吸い上げていきたいと考えています。

《質疑》

委員長 シンプルながら、よくまとめられた調査票だと思います。どのぐらいの規模で実施されますか。

事務局 社会教育委員がワーキング委員として2人体制で対面式で行いたいと考えてます。

委員長 Q4の活動頻度のところで、週1回とかだけではなく、いつ活動しているのか、平日の昼とか、土曜日の夜とかを聞いてほしいと思います。

事務局 調査票に追加します。

委員長 Q9で、これまで参加しなかった人が参加しにくかった理由等についても聞いてもらうようにしてください。この調査はいつ頃実施されますか。

事務局 この委員会が終われば至急調査に入りたいと考えています。各団体の現状と課題についても整理を行い、アンケート結果も踏まえてキーワードを整理していきたいと考えています。

《結果》

- ・Q4に活動の詳細を追加することとし、その他は提案どおりの内容で調査を行うこととなった。

その他 次回委員会の開催日程について

- ・3月は議会が入ってくるので、議会日程が明らかにならないと調整ができないため、議会日程決定後、至急調整し案内をさせていただくことを報告。

閉会挨拶（前平委員長）

本日は長時間ありがとうございました。次回日程が決まれば案内をさせていただきます

ので、よろしくお願いします。